

UNZEN CITY COMPREHENSIVE PLAN

雲仙市総合計画

後期基本計画 数値目標達成状況

○将来像 豊かな大地・輝く海と
ふれあう人々で築く たくましい郷土

○将来像の実現テーマ
雲仙・山麓「食」・「遊」・「快」のくにづくり

○計画期間

基本構想	平成19年度～平成28年度
前期基本計画	平成19年度～平成23年度
後期基本計画	平成24年度～平成28年度



平成28年12月

- 基本方針① みんなでつくるまちづくり
- 基本方針② 快適で住みよい暮らしづくり
- 基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり
- 基本方針④ 力強い産業と仕事づくり
- 基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり
- 基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

雲仙市総合計画後期基本計画(平成24年度から28年度) 数 値 目 標 達 成 状 況

はじめに

雲仙市は、平成24年3月に「雲仙市総合計画 後期基本計画 2012→2016」を策定しました。この計画は、前期基本計画(23年度まで)の終了に伴い、経済情勢や社会状況など本市を取り巻く環境の変化を考慮するとともに、新たな課題について見直しを行い策定しております。雲仙市の将来の発展に向け、市民と行政が一体となって、活力と魅力あるまちづくりに取り組むための指針であり、市政の総合的な経営指針となっております。

雲仙市の将来像としては、「豊かな大地・輝く海と ふれあう人々で築く たくましい郷土」を掲げ、その実現のための6つの基本方針を設定しています。

このたび、この6つの基本方針にそって、各政策・施策の推進の成果を示す「平成27年度数値目標」の進捗状況をまとめましたので、市民の皆様へお知らせします。

これは、平成28年度目標値(後期基本計画終了年)と平成27年度実績値を比較し、計画に対する取り組み状況を明らかにしたもので、目標達成に向けての進捗状況を示しています。

雲仙市総合計画の実現に向け、今後も計画の着実な推進を図っていきます。

達成状況

基本方針	達成数	目標数
みんなでつくるまちづくり	7	16
快適で住みよい暮らしづくり	3	17
笑顔いっぱいの健康と福祉づくり	4	19
力強い産業と仕事づくり	4	25
新しい観光・交流による活力づくり	1	8
明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり	9	24
計	28	109

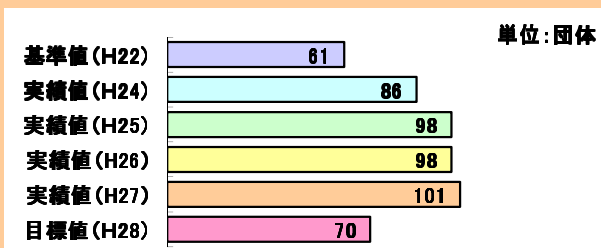
基本方針① みんなでつくるまちづくり

政策 1 参加と協働のまちづくり

地域コミュニティを守り育てる取り組みの推進と、NPOなどのまちづくり団体の育成や活動支援、イベント開催などを行います。また、市民の意見を市政に反映させる広聴活動を充実させます。

【001】地域づくり活動団体数

総合窓口課



◎説明

※目標達成！

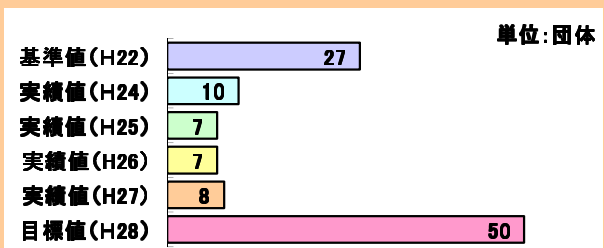
H18年度～H27年度地域づくり補助金活用団体数 91団体
地域づくりネットワーク登録団体数 10団体

(解説)

地域づくり補助金制度により、各種事業を実施した団体の累計及び地域づくりネットワーク協議会に登録している団体数。

【002】NPO数およびボランティア活動センター登録団体数

総合窓口課

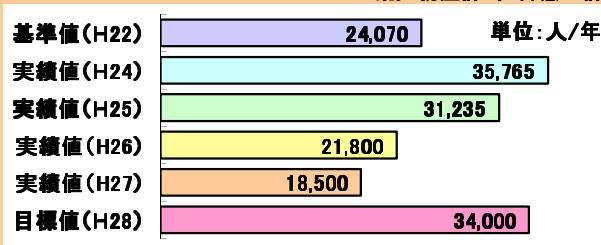


◎説明

NPO法人8団体
実績値については、指標対象であるボランティア活動センター登録制度の廃止により、活動指標はNPO団体数のみとなっている。

【003】ふるさと産業まつり等への参加者数

観光物産課・総合窓口課

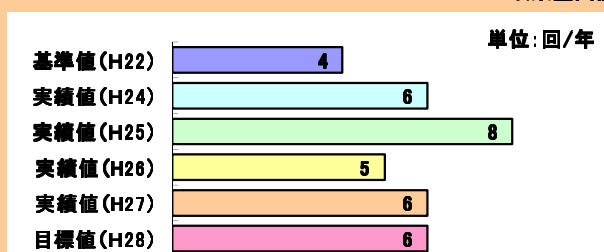


◎説明

雲仙市産業まつり 8,000人
雲仙市瑞穂特産品まつり 3,500人
雲仙モーモーフェスティバルinみずほ 7,000人
雲仙みずほカキ焼きまつり 中止

【004】市長による広聴活動数(H25年度～)

政策企画課



◎説明

※目標達成！

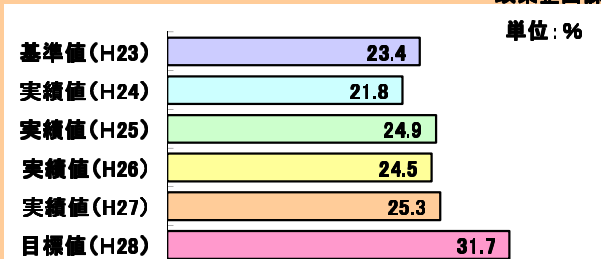
(H27実績)
・「雲仙の地方創生を語り合う」夜なべ談義及び全体会議
・商工行政に対する市と商工会の意見交換会
・障害者福祉事業所と市長との意見交換会
・雲仙市内福祉事業所との意見交換会
・水産業振興に関する意見交換会
・雲仙市長との懇談会(雲仙市花き振興協議会)

政策 2 人権尊重・男女共同参画社会づくり

人権が尊重された社会を目指すため、研修会や情報発信などの普及啓発活動を推進し、偏見による被害・いじめ・DV等の未然防止と早期発見のための環境を整備します。また、男女とも主体的に参画できる社会づくりを目指し、政策方針決定過程への女性の参画の拡大など、男女共同参画を推進します。

【005】市審議会等における女性委員登用率

政策企画課

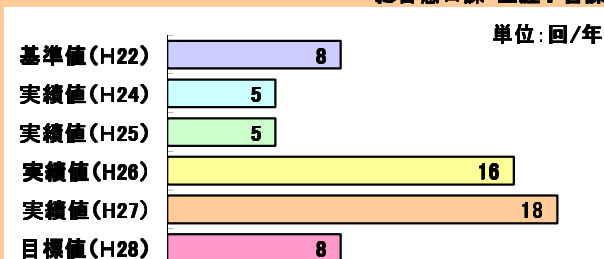


◎説明

地方自治法第202条の3に該当する審議会等数 (H27. 4. 1現在)
審議会等数25団体 うち女性委員のいる審議会数22団体
委員総数430人 うち女性委員数109人 (25.3%)
※各種審議会委員において女性を登用するよう、男女共同参画庁内推進会議を通じ、各部局へ働きかけを行った。

【006】人権啓発の普及活動実施数

総合窓口課・生涯学習課

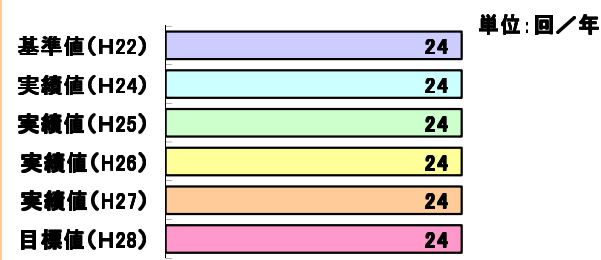


◎説明

※目標達成！

・夢大使講演会 市内の小・中学校6校
・人権の花運動 市内の小学校7校
・人権紙ふうせん打ち上げ事業 市内の小学校3校
・人権問題を題材としたミニ映画鑑賞(青少年健全育成協議会・少年の主張大会時) 1回
・教育講演会(メディア関係) 1回

【007】人権相談所(よろず相談所・特設人権相談所)開設数



※目標達成!

総合窓口課

◎説明

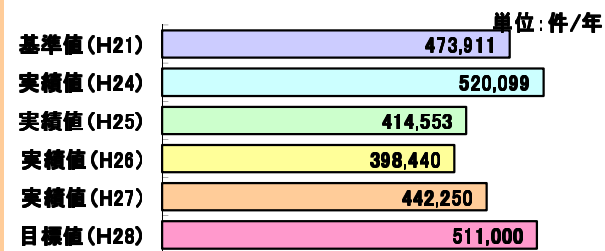
- ・よろず相談所10回
- ・特設人権相談所7会場×2回開催＝14回

政策 3 効果的で開かれた行政運営

職員の能力向上や行政運営基盤の強化を行い、市民の行政ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供します。また、多様な媒体を活用した情報の発信と公開を行うとともに、個人情報の適切な管理を行います。

【008】市ホームページアクセス件数

政策企画課

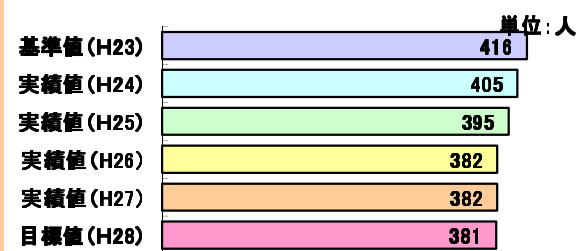


◎説明

インターネットを通じて、雲仙市の情報を発信することにより、市政に対する理解を深めていただくとともに、雲仙市のさまざまな魅力についてPRを行っている。
スマートフォンからの利用者を増やすため、スマートフォン版の運用を開始、スマートフォンに合った画面サイズの表示と項目ごとのメニュー画面を設ける改良を行った。

【009】市職員数(一般職)

人事課



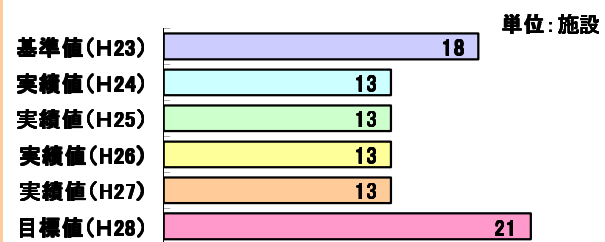
◎説明

定員適正化計画に基づく職員配置を図った。

- (増加) 新規採用 19名
- ・雲仙市新規採用 14名
 - ・" 再任用 3名
 - ・教員割愛(県) 2名
- (減少) 退職等 19名
- ・雲仙市職員 12名
 - ・" 再任用 5名
 - ・教員割愛(県) 2名

【010】指定管理者制度の導入施設数

人事課



◎説明

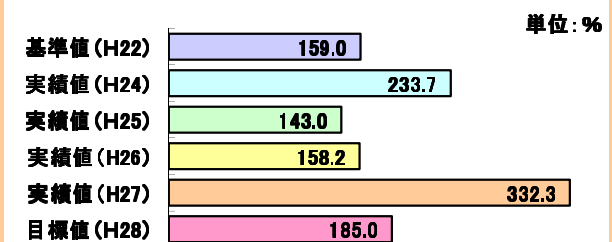
平成27年度の指定管理者施設は、新規で1件増えたが、施設廃止に伴い1件減少したので、「増減なし」の結果となった。

- ※H27新規施設 雲仙市千々石農産物直売所
H27減少施設 雲仙市立木場保育所

平成24年度から直営となっている「雲仙市瑞穂すこやかランド関係施設(5施設)」は、「千年の湯の施設修繕や源泉の安定供給の不安」などの問題を抱えたままの状況に変化がなく、27年度も指定管理者の公募を行うまでに至らなかった。

【011】市職員研修参加率(一般職)

人事課



◎説明

※目標達成!

H27年度: 1,236人/372人×100=332.3%

階層別: 39人 専門: 82人 中都市: 3人 自己研修: 3人 J I A M: 16人 アカデミー: 3人 N E R C: 7人 九州地方整備局: 1人 長崎県: 6人 職場研修: 1,076人

政策 4 健全で計画性のある財政運営

健全で計画的な財政運営を行うとともに、自主財源の確保や、市有財産の有効活用を行います。

【012】市税の収納率

収納推進課



◎説明

市税の滞納徴収については、徴収嘱託職員による納税折衝及び臨戸徴収や金融機関への集中預金差押えや国税還付金の差押などにより、一定の成果を上げている。

また、捜索による動産差押えを実施し、合同公売会やインターネット公売による換価も行い、滞納税へ充当している。

さらに徴収権の消滅時効分を不納欠損処理により滞納繰越総額の縮減を図り前年度より収納率が増となった。

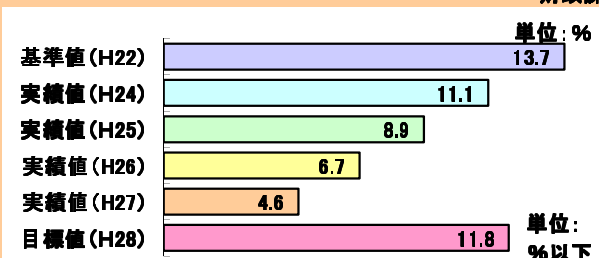
調定額 4,358,563千円・・・A
 収納額 3,761,759千円・・・B
 不納欠損額 29,765千円・・・C
 $B / (A - C) = 86.90\%$

現年度
 調定額 3,744,479千円・・・A
 収納額 3,678,200千円・・・B
 不納欠損額 90千円・・・C
 $B / (A - C) = 98.23\%$

過年度
 調定額 614,083千円・・・A
 収納額 83,558千円・・・B
 不納欠損額 29,674千円・・・C
 $B / (A - C) = 14.30\%$

【014】実質公債費比率

財政課



◎説明

※目標達成！

公債費等の標準財政規模に対する比率。
 繰上償還などにより地方債現在高がH25年度比約3億5,300万円減ったこと、また、地方消費税交付金などの増により標準税収入額等が2億5,900万円増えたことなどにより、単年度比率で1.7ポイント、3ヶ年平均で2.1ポイントの減少となった。

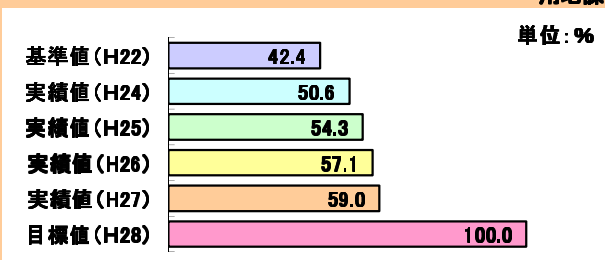
【016】義務的経費を除く歳出額

財政課



【013】公共用地のうち登記可能な未登記物件の登記率

用地課



◎説明

登記事務嘱託職員3名を配置し分筆登記、所有権移転登記を実施した。

相続関係で相続人全員の承諾が得られず、登記が進まない事例が多数見られた。

登記可能な未登記合計 10,500筆
 登記完了数 6,192筆（H27年度 195筆）
 $6,192 / 10,500 \times 100 = 59.0\%$

【015】経常収支比率

財政課



◎説明

※目標達成

経常的に支出する経費に、地方交付税など経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率。

歳出において、扶助費に充当した経常的一般財源でH25年度比約2億400万円の増があるものの、公債費（定時償還元金・利子）の約2億5,400万円減などにより、経常経費充当の一般財源全体で約9,200万円の減となり、比率は昨年とほぼ変わらない状況となっている。

また、臨時財政対策債借入額の4億円減などにより、歳入の経常一般財源全体で約7,900万円の減となり、この結果、H27年度の経常収支比率は、H26年度と比較して0.1ポイントの減少となった。

【経常収支比率の計算式】

経常経費に充当した経常一般財源（14,287,741千円）/経常一般財源総額（17,731,271千円）×100=80.6%

◎説明

庁舎整備事業等の増はあったものの、島原半島地域食肉センター整備事業補助金や国体開催事業（ハード）等の減により、投資的経費が約4億5,700万円の減となった。また、国体開催事業（ソフト）の減により補助費等が約3億1,300万円の減となった。

これらにより義務的経費を除く歳出額は、H26年度と比較し約6億2,400万円の減となった。

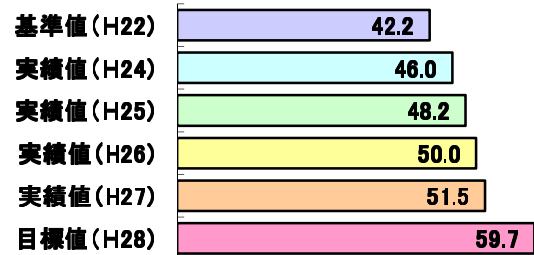
政策1 快適で潤いのある生活空間づくり

上下水道や市営住宅、公園・緑地、海岸・河川・港湾、火葬場などの各種施設等の計画的な整備や維持管理を行います。

【017】水洗化率

下水道課

単位：％



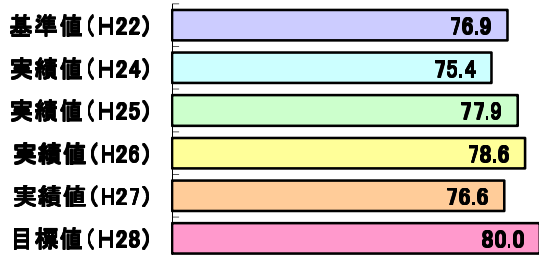
◎説明

H27年度 合併浄化槽人口（市型・個人型）10,371人
 H27年度 小規模集合排水処理（愛野東地区）66人
 H27年度 下水道事業 8,796人
 H27年度 農業集落排水事業 4,080人
 合計 23,313人／45,292人×100＝51.5％
 （H25年度より外国人登録含む）

【018】水道有収率

水道課

単位：％



◎説明

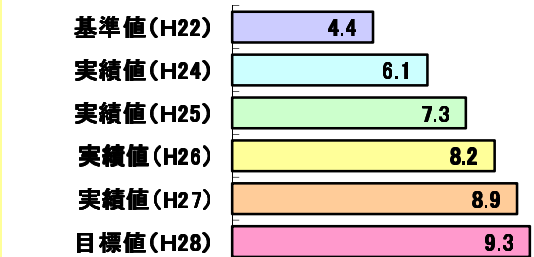
H27 4,546,058㎡（総有収量）÷5,937,229㎡（総配水量）×100＝76.6％

※有収率とは、給水する水量と料金として収入のあった水量との比率のことである。漏水などを未然に防ぐための広報などに努め、今後も安全な水供給にも努めていく。
 有収率が落ちた理由としては、1月の大寒波時の給水管の破損事故が多発したことにより、前年度より有収率が低下したと考えられる。

【019】水道管耐震化率

水道課

単位：％



◎説明

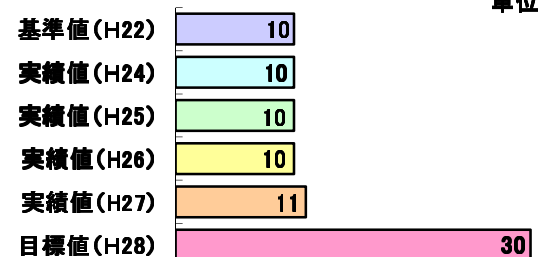
（H27耐震化布設延長+H26までの耐震化布設延長）÷総延長＝耐震化率
 （3.2km+43.5km）÷521.8km＝8.9％

※耐震化率とは、直下型地震又は海溝型巨大地震に起因する高いレベルの地震動に対しても壊れない配水管の布設総延長に対する布設率

【020】定住相談窓口への相談者のうち市内への定住者数
（合併からの累計者数）

政策企画課

単位：人(延べ)



◎説明

（根拠）
 H19年度3人+H20年度6人+H21年度1人+H22年度0人+H23年度0人+H24年度0人+H25年度0人+H26年度0人+H27年度1人
 （解説）

※H27年度において、26件の相談を受け、1人の定住につながった。
 ※移住者からは、空き家に関する問合せが多いが、市が把握している空き家に関する情報が少なく、移住者の希望に添えていない。
 ※「空き家活用促進奨励補助金」等定住促進事業を活用して、空き家の利活用を促進する。

政策2 災害に強い安心・安全なまちづくり

住民の防災意識の啓発の推進と、迅速で的確な防災情報の発信を行います。また、自主防災組織の育成・強化を図り、地域での防災訓練の取り組みなど自主防災体制のより一層の強化を図り、災害危険箇所の整備や消防防災体制の充実・強化など防災基盤の整備を推進します。

【021】急傾斜地崩壊対策事業整備率

道路河川課



◎説明

(根拠) ※1 ※2
H27年度 32箇所/137箇所×100=23.3%

※1 崩壊対策施設整備済地区数
※2 崩壊危険箇所数

【022】防火水槽の設置数(20t以上)

市民安全課



◎説明

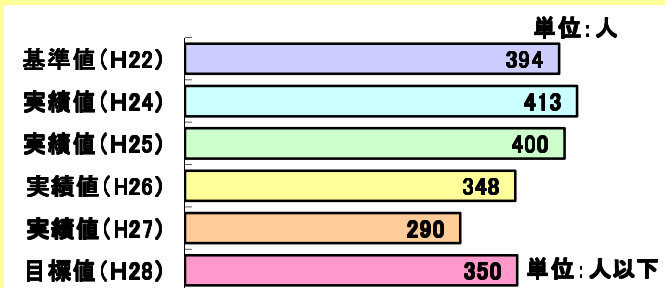
H27年度は老朽化等に伴う新設1基(国見)と既存蓋掛け補修2基(吾妻)を行ったが、平成27年度において未整備であった防火水槽の台帳を整備した結果、20t以上の防火水槽が544基であったため、H27年度(実績値)を544基とする。

政策3 安心・安全な暮らしの実現

地域ぐるみの防犯活動や交通安全活動を推進するとともに、防犯施設や交通安全施設の整備・充実を図ります。また、安心・安全な消費生活を確保するため、消費生活センターを中心とした相談体制の充実に取り組むほか、市民意識の啓発を行います。

【023】交通事故による死傷者数(市民安全課)

市民安全課



◎説明

H27は死者数4名で前年より1名減少した。
負傷者数が286名であり、前年より減少した。
引き続き交通安全協会などの各種関係団体との連携を深め、交通安全教育や、啓発活動の充実を図り、交通事故防止に努める。

※目標達成!

【024】狂犬病予防注射接種率(登録犬への注射実施件数)

環境政策課



◎説明

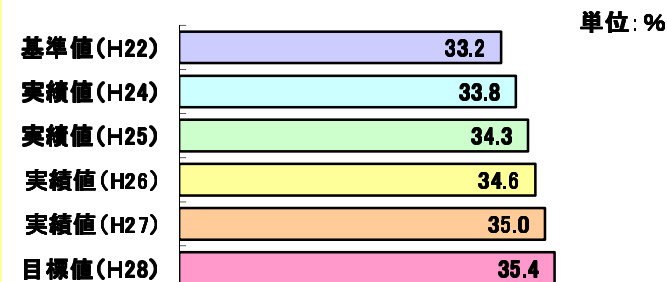
H27年度の犬の登録件数(2,421頭)の内、予防接種頭数1,620頭
(1,620[頭]÷2,421[頭])×100=66.9%

政策4 道路網の整備

主要道路の早期完成と、愛野・小浜バイパス道路整備の実現を目指します。また、生活道路網について、拡幅や急カーブの是正などの整備と、長寿命化のための補修・改良、バイパス道路の整備などを計画的に推進します。

【025】市道改良率

監理課・道路河川課



◎説明

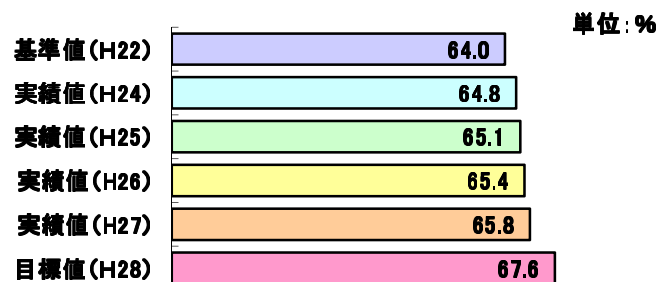
改良率＝改良済延長/実延長

$378.061\text{ km}/1.079.439\text{ km} \times 100 = 35.0\%$

※市道において、計画的に改良・舗装事業を実施した。

【026】幹線道路網整備延長割合(1,2級市道改良済み延長割合)

監理課



◎説明

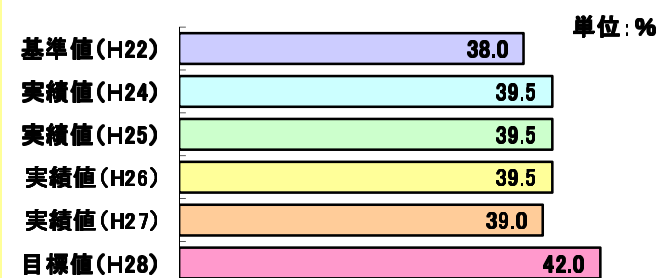
雲仙市内の幹線道路である1・2級市道として認定している路線は、191路線249,507mで、その内改良済みである路線は、164,287mで、改良率は65.8%となっている。

政策5 公共交通体系の充実

既存路線バスの維持・活性化の支援と、新交通システムの導入検討など、公共交通空白地域・交通弱者対策を展開します。また、本市の地理的特性を考慮し、交通ターミナル機能等の整備に取り組みます。

【027】バス停上屋整備率

総合窓口課



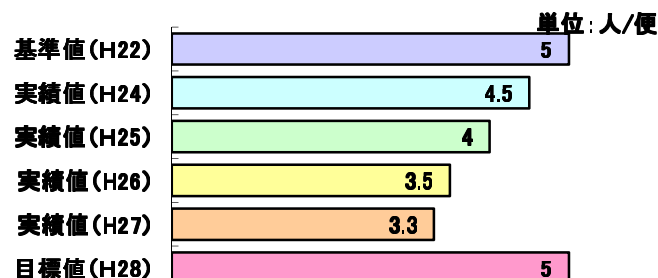
◎説明

【新規】0箇所

$80\text{ 箇所(設置済 バス停)} \div 205\text{ 箇所(バス停総数)} = 39.0\%$

【028】1便当たり利用者数(乗合タクシー運行路線利用者数)

総合窓口課



◎説明

年間利用者数：22,877人

運行回数：6,953回

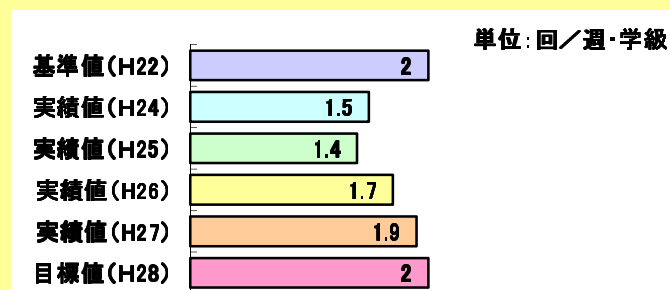
$22,877\text{ 人} \div 6,953\text{ 回} = 3.3\text{ 人}$

政策6 高度情報化の推進

市民の立場に立った情報提供の充実を図るとともに、ICTを活用した市民サービスの提供について研究を進めます。

【029】学校教育支援システム(インターネット・TV会議)利用授業回数

学校教育課



◎説明

1.9回/週・学級 ÷ 0.57 + 1.28
(内訳)

- ・電子黒板でのインターネット活用
0.57回/週・学級
- ・パソコン室でのインターネット活用
1.28回/週・学級

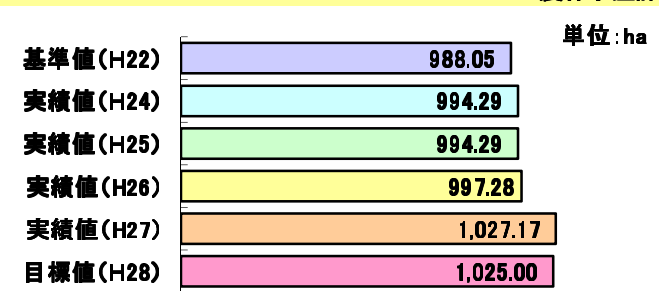
※いずれも各教科・領域・総合的な学習等での利用場面が教育課程に計画されている小学3年～中学3年のうち中学3年を除く学級数を基準に算出。(2月調査のため)

政策7 自然と共存する地域づくり

環境保全に関する意識啓発や活動に対する支援、森林の環境整備などを行います。また、循環型社会へ対応するため、ごみの減量化に努め、効率的なごみ・し尿収集・処理体制の構築や不法投棄対策の強化などを行います。

【030】保安林面積

農林水産課



◎説明

※目標達成!

H27年度において、30.08haが新たに保安林指定を受け、保安林面積の修正により保安林面積が0.19ha減少した。

新規保安林

吾妻町木場地区 (29.55ha)

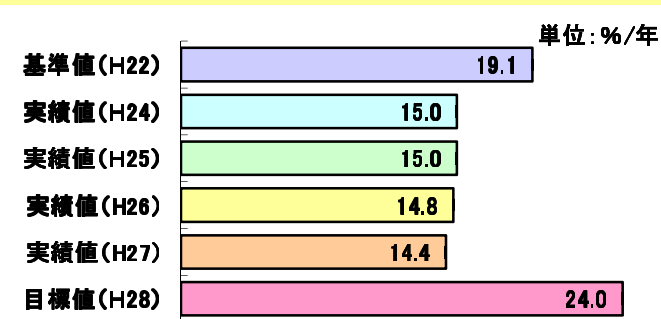
小浜町北脇地区 (0.48ha)

南串山町中ノ場地区 (0.05ha)

減少地区: 南串山町田ノ平地区 (0.19ha)

【032】ごみの再資源化率

環境政策課

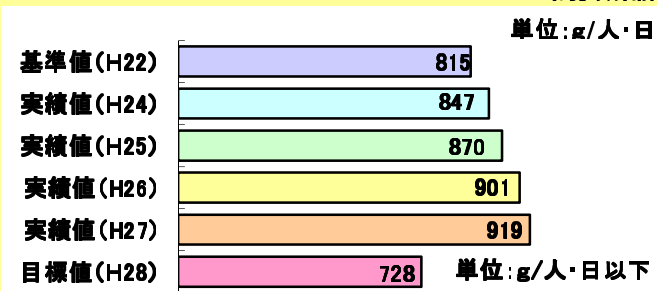


◎説明

H27年度ごみ処理量15,367tのうち、資源化量は2,218t (14.4%)である。

【031】1人1日あたりのごみ排出量

環境政策課



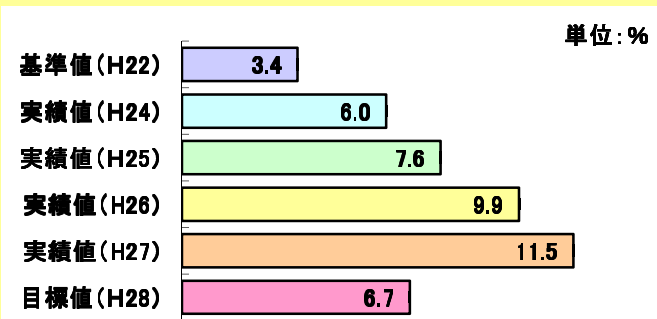
◎説明

H27年度ごみ排出量15,367tを総人口45,790人で除し、一日あたりに換算した一人一日あたりごみ排出量は919gとなる。

実績値増加は事業系ごみが5,608tから5,742tと増加したことによるもので、増加の要因としては26年度で小浜リサイクルセンターが廃止となり、そこで処理していたホテル・旅館の生ごみが排出に回るようになったことが考えられる。

【033】太陽光発電の普及率

環境政策課



◎説明

※目標達成!

H27年度実績

1,959 (累計) / 17,076世帯中の太陽光発電設置 (太陽光発電需給契約書数)

1,959件 ÷ 17,076世帯 = 11.5%

※太陽光設置数は事業用を含む

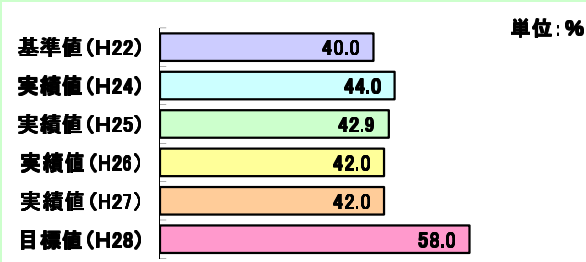
基本方針③ 笑顔いっぱいの健康と福祉づくり

政策1 健康な地域づくり

食育の推進や各種健康教室の開催等により、『自分の健康は自分で守る』という市民の健康意識の向上に努め、各種健康診査による病気の早期発見・早期治療の推進に取り組むとともに、生活習慣病等の予防に努めます。医療においては、かかりつけ医をもつことの推進と救急医療体制を整備し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

【034】特定健康診査受診率

総合窓口課・健康づくり課

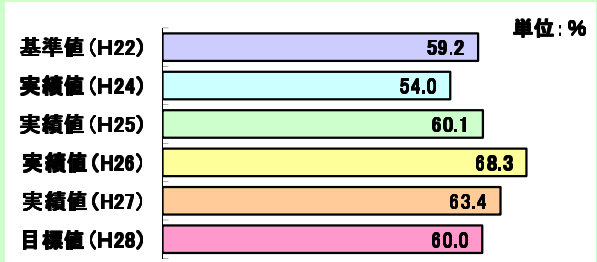


◎説明

- ・南高医師会に委託契約
- ・実施期間 平成27年5月8日～28年2月29日まで
- ・集団健診 50日（午前32日・午後18日）
- ・個別健診 45医療機関（雲仙市：22、南島原市23）
- ・人間ドック 10医療機関（雲仙市：5、南島原市5）
- ・対象者数 10,393人
- ・受診者数 4,361人
- ・受診率 42.0%
- ・特定健康診査（国保被保険者40～74歳）の受診者数により受診率を算出する。年度内の資格喪失者は、対象者数・受診者数から除き、職場健診者も反映される。

【035】特定保健指導実施率

総合窓口課・健康づくり課



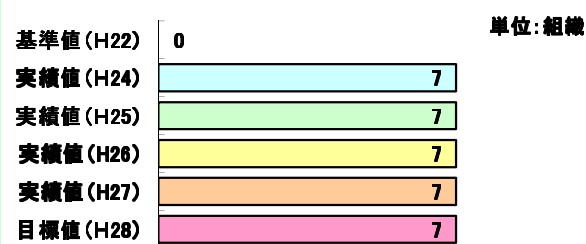
◎説明

※目標達成！

- ・市の直営で特定保健指導を実施。
- ・初回面接で、健診データと生活習慣の関連について説明を実施し、6ヵ月間の行動目標と支援計画を作成。その後、個別に継続支援を実施し、行動目標の評価を行う。
- ・特定健診受診者（4,361人）のうち、
特定保健指導該当者 511人（11.7%）…①
- ・特定保健指導該当者①のうち、
初回面接終了者 301人（58.9%）
- ・特定保健指導該当者①のうち、
6ヵ月間の保健指導修了者 324人（63.4%）
＝特定保健指導実施率

【036】地域福祉連合会設置数

福祉課



◎説明

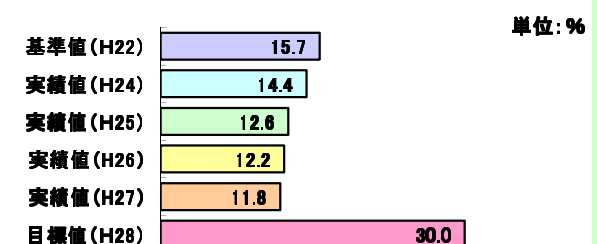
※目標達成！

地域福祉計画について市内全域で進めるため、各町を単位として設立。

※H24年度において達成

【037】胃がん検診受診率

健康づくり課

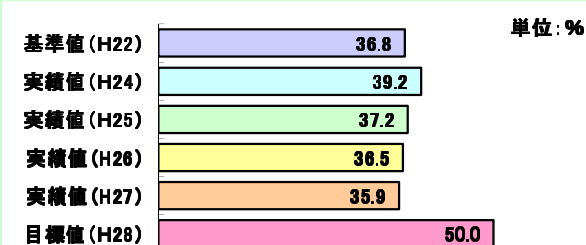


◎説明

胃がん検診の受診状況（H27年度）
受診者数：2,039人（集団：1,269人 個別：770人）
対象者数：17,239人
受診率：11.8%
H26年度の受診率を0.4%下回った。

【038】肺がん検診受診率

健康づくり課

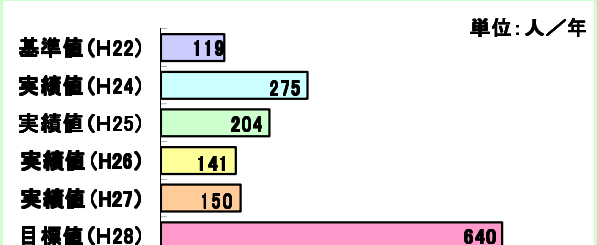


◎説明

肺がん検診の受診状況（H27年度）
受診者数：6,188人（集団：2,774人 個別：3,414人）
対象者数：17,239人
受診率：35.9%
H26年度の受診率を0.6%下回った。

【039】若年者健診受診者数

健康づくり課



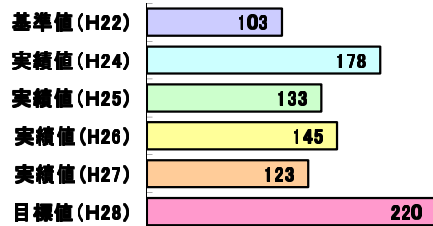
◎説明

若年者健診の受診状況（平成27年度）
受診者数：150人（集団：77人 個別：73人）
周知方法として、「健康診査のお知らせ」の世帯配布、20・25・30・35歳の節目対象者へ個別通知等実施。H27年度は受診者数が若干増えた。

【040】歯周病予防健診受診者数

健康づくり課

単位: 人/年



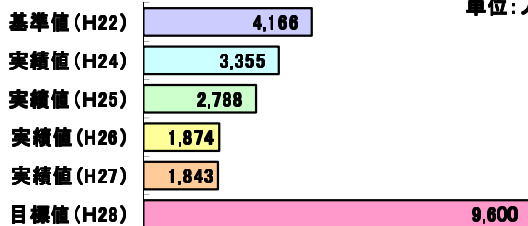
◎説明

H23年度より対象者を40歳から70歳の5歳ごととして実施。H26年度からの対象者は、20～70歳の5歳毎。H27年度は、H26年度より22名減少した。

【042】食生活改善推進事業の生活習慣病予防事業への参加者数

健康づくり課

単位: 人/年



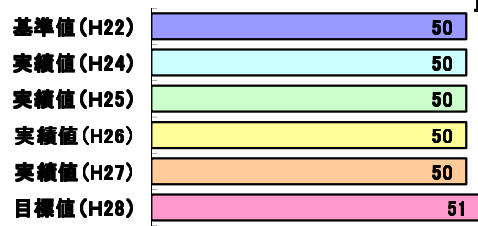
◎説明

雲仙市国民健康保険加入者40歳から74歳を対象にした特定健診の問診「朝食を抜くことが週3回以上ありますか」の設問で「はい」と答えた人の割合
(解説)
雲仙市健康づくり計画「健康うんぜん21」の食生活取組テーマに則った指導、特定健診後の特定保健指導や結果説明会時の指導などを年間通じて実施しており、H27年度の間診結果では、男性9.0%、女性5.5%であった。

【041】公共施設へのAEDの設置数

健康づくり課

単位: 箇所



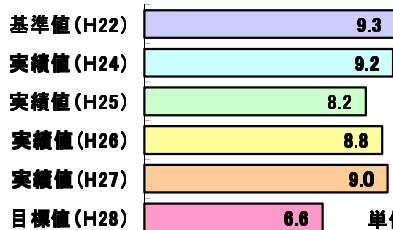
◎説明

雲仙市役所庁舎（本庁及び各総合支所）、小中学校、保健・福祉施設、公民館、社会体育施設等 市内50箇所に設置済

【043】朝食を食べない人の割合(男性)

健康づくり課

単位: %

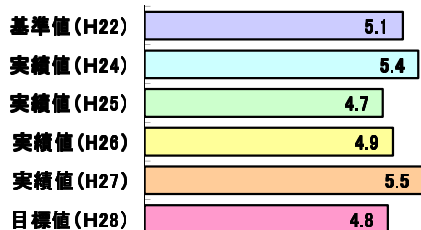


単位: %以下

【044】朝食を食べない人の割合(女性)

健康づくり課

単位: %



単位: %以下

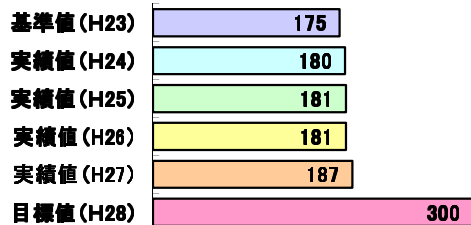
政策2 安心できる高齢社会の実現

介護予防教室等の充実により、介護状態への移行や重度化を防ぎ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者を見守り支えあう地域づくりを推進します。また、高齢者が進んで社会参加できる環境づくりに取り組みます。

【045】シルバー人材センターの登録会員数

福祉課

単位: 人



◎説明

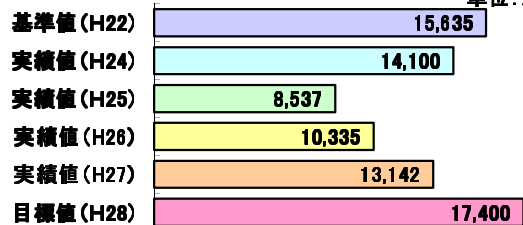
登録会員は、毎年度更新になっており、H27年度の総加入登録会員は208人であったが、年度末までに21人の退会があり、187人となった。

会員加入説明会については、市民から要望があった時に、随時に出席できるように柔軟に対応するよう変更し、年間33回行った。

【046】介護予防教室への参加者数

福祉課

単位: 人/年

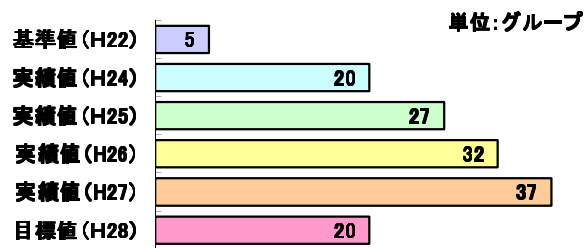


◎説明

前年度に引き続き、介護予防教室を新規に5ヵ所立ち上げたことで、参加者が前年度に比べ2,807人増加につながった。

【047】自主的な介護予防グループ数

福祉課



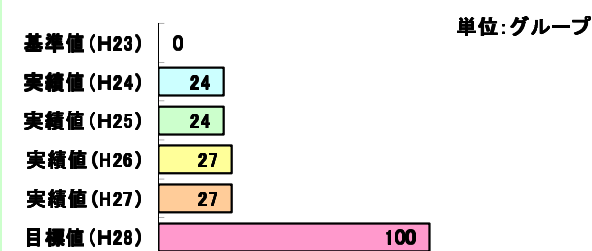
◎説明

※目標達成!

前年度に引き続き、未実施地区の自治会や老人クラブ等を対象として5つの教室を立ち上げ、自主的な教室にするための活動を支援していき、自主的な介護予防グループ数を5カ所増やすことができた。

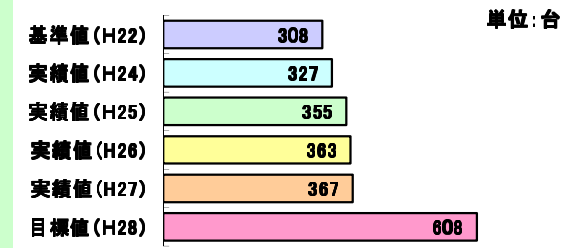
【049】高齢者の見守りネットワーク協力団体数

福祉課



【048】緊急通報システムを必要とするひとり暮らし世帯の利用台数

福祉課



◎説明

H26年度末の実利用台数363台、H27年度中の新規設置台数51台、撤去台数47台で実利用台数が4台増加した。

◎説明

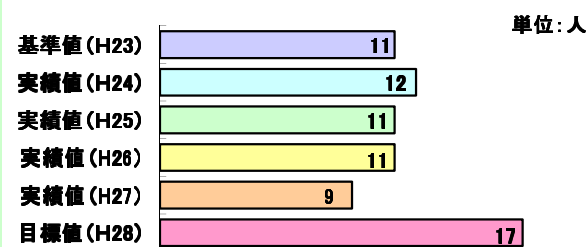
H27年度は、見守り活動に関する協定を締結する事業者はなかったが、「雲仙市高齢者等見守りネットワーク推進協議会」を組織した。その協議会構成団体として、「認知症の人と家族の会」や「雲仙市消防団」なども新規団体として構成し、見守り体制の強化を行った。

政策3 誰もが安心して暮らせる社会の実現

すべての市民が地域の中で安心して暮らせる社会を実現するため、相談体制を充実させ、医療、就労、施設整備などの幅広い分野において支援を行い、要援護者の自立と社会参加を促進します。

【050】手話奉仕員養成講座受講者数

福祉課

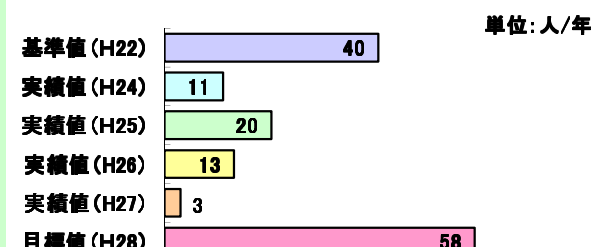


◎説明

平成26年度入門講座受講者のうち10名が基礎講座を受講し、内修了者が9名。1名については受講回数が満たなかったため手話奉仕員登録なし。(修了については、カリキュラム28回のうち、19回以上の受講が必要。)

【051】障害者就業・生活支援センター支援による就業者数

福祉課

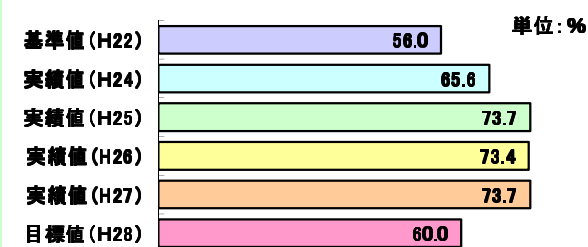


◎説明

知的障害者2人、精神障害者1人が障害者就業・生活支援センターの支援により就職した。

【052】稼働年齢層への就労支援による就労率

保護課



◎説明

H27年度 87人(就労者数)÷118人(就労支援者)×100=73.7%(解説)

生活保護費を受給している求職者へ、ハローワークからの求人情報の提供を行うなどの支援を行った。H27年度においては、対象者118人のうち、87人が仕事に就かれた。

※稼働年齢層: 一般的に15~64歳の仕事をする年齢層を指す。

※就労者数: 就労時間が1時間以上の者の数

※目標達成!

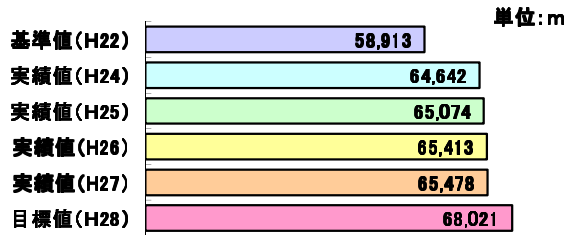
基本方針④ 力強い産業と仕事づくり

政策1 足腰の強い農林業の推進

農林業生産基盤整備の推進や、認定農業者・集落営農組織など担い手の育成に努め、農業生産の安定のためイノシシの防護策の設置促進や、口蹄疫や鳥インフルエンザ等の防疫対策を推進します。あわせて、農地や農村集落、森林の環境保全に努めます。

【053】農道整備延長(幅員が4m以上の農道)

農漁村整備課

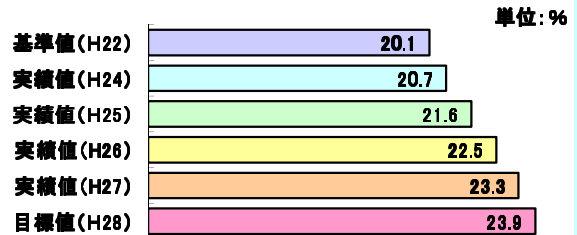


◎説明

田之平農道 L=65m

【054】畑(区画)の整備率

農漁村整備課



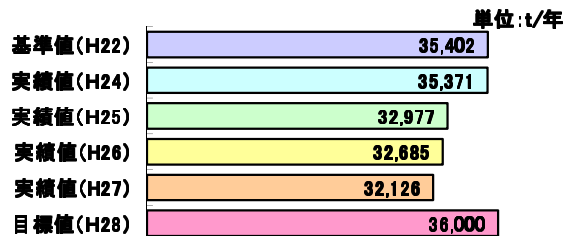
◎説明

【県営農地整備事業】

・山田原第2地区整備面積:16.92ha
・整備済面積:621.45ha+16.92ha=638.37ha
・整備率:638.37ha÷2734ha(畑総面積)×100
=23.3%

【055】主要作物産出量(パレイシヨ)

農林水産課

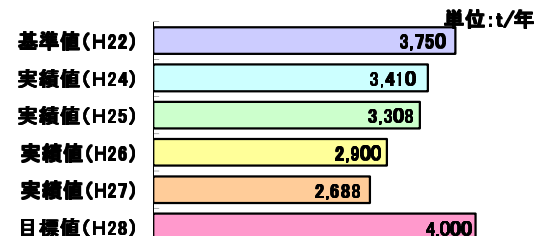


◎説明

『馬鈴薯生産流通事情調査』(H27春作及び秋作)等により生産量を調査し算出した。
軽量作物への転換が進むとともに、天候の影響により品質低下を招き、出荷量の減少となった。しかしながら、春作の単価については、全国的に出荷量が少なく、今までにない高単価で推移した。

【056】主要作物産出量(イチゴ)

農林水産課

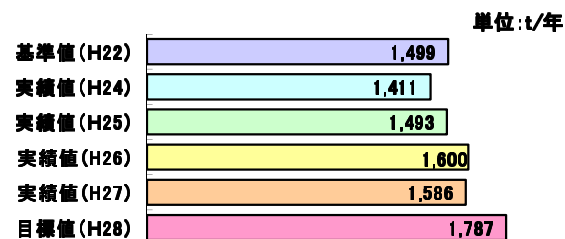


◎説明

全農ながさき販売実績等により算出した。平成27年度については、暖冬により生育が進み前倒し出荷となり、年明けの寒波により出荷量が大きく落ち込んだ。その後も花芽が進まず、全体的に出荷量が減少した。

【057】特用林産物産出量

農林水産課



◎説明

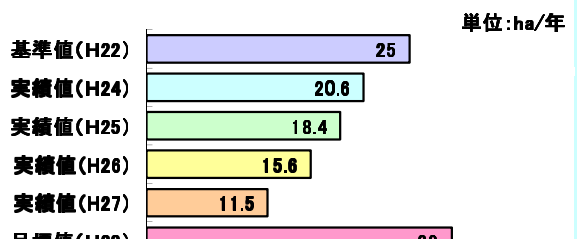
市内にある3施設において、菌床栽培による生しいたけの生産を行っており、年間3%増の生産を目標とする。

※H27年度特用林産物生産統計調査実績より

吾妻しいたけ生産組合	722t
雲仙しいたけ生産組合	830t
長崎能力開発センター	34t
合 計	1,586t

【058】耕作放棄地の解消面積

農業委員会



◎説明

市担当部局と連携して耕作放棄地解消を図った。

補助事業解消面積	2.4 ha
自主解消等面積	9.1 ha

【059】担い手等への農地集積率

農業委員会

単位: %/年



◎説明

※目標達成！

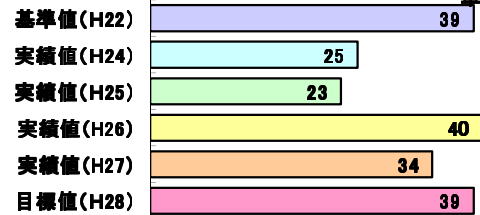
農地の有効利用を促進するため、認定農業者等担い手への農地集積を図るとともに、農地の借受者に対して一部補助を行った。また、平成26年度から始まった農地中間管理事業を引き続き推進した。

2,974ha（認定農業者等の経営面積）／4,806ha（農地面積）×100
 ≒61.9% ※農地面積：農林業センサス

【061】新規就農者数

農林水産課

単位: 人/年



◎説明

平成27年度新規就農者実態調査によるもの。

【063】飼養頭数（肉牛）

農林水産課

単位: 頭/年



◎説明

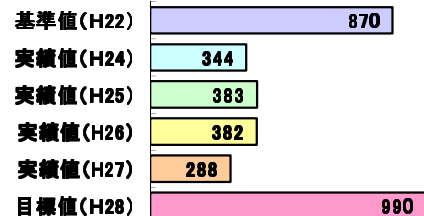
※目標達成！

農家の高齢化により、飼養戸数及び頭数が減少したが1戸当りの飼養頭数は増加している。（4.1調査より）

【065】エコファーマー認定者数

農林水産課

単位: 人



【060】認定農業者数

農林水産課

単位: 人



◎説明

高齢や後継者不足の理由により辞退者が多かったため、減少となった。

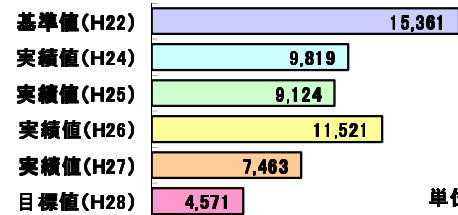
新規：31人

辞退者・認定切れ：37人

【062】有害鳥獣による被害額

農林水産課

単位: 千円



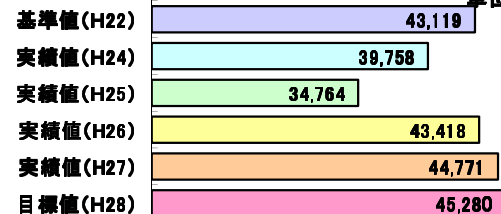
◎説明

平成27年度雲仙市有害鳥獣による農作物被害調査結果より（自治回覧による）

【064】飼養頭数（豚）

農林水産課

単位: 頭/年



◎説明

飼養農家数は微減したが、飼養頭数は規模拡大等により、前年度報告頭数より増加した。（4.1調査より）

◎説明

H23年度のエコファーマーマークの廃止以降、更新の意思なしの農家が増加したことにより、認定者数が減少している。

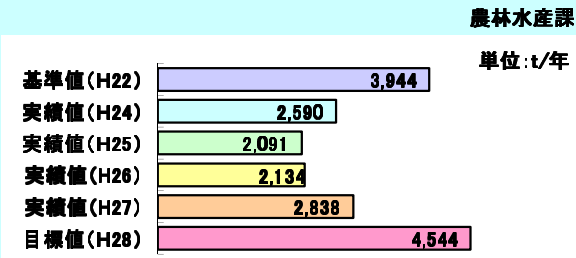
新規・更新：17人

認定切れ：111人

政策2 豊かな水産業の振興

水産資源の維持増大のため、栽培漁業や資源管理型漁業の定着を図るとともに、養殖漁業を推進します。また、漁業担い手の確保のための取り組みを推進します。

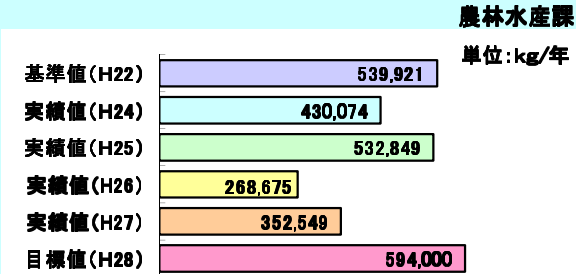
【066】漁獲量



◎説明

有明海側では昨年同様環境変化（貧酸素・高水温等）により、魚類が低調、タコ漁は昨年を上回った。橘湾側ではまき網によるカタクティウシが好調であった。
有明漁協多比良支所 3t、国見漁協 28t、瑞穂漁協 0.4t、橘湾東部漁協 2,807t 計 2,838t

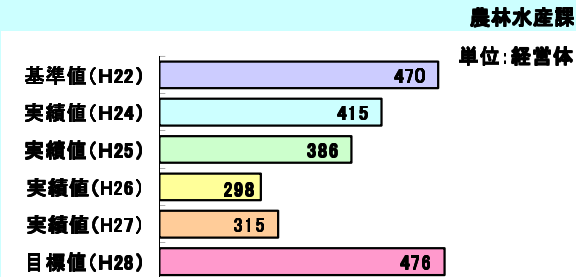
【068】養殖漁業による生産量(ノリを除く)



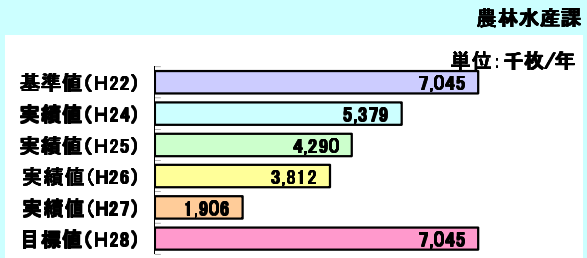
◎説明

瑞穂漁協のカキ、及び橘湾側ではトラフグの出荷量が増加
瑞穂漁協 88,549kg、橘湾東部漁協 264,000kg
計 268,675kg

【070】漁業経営体数



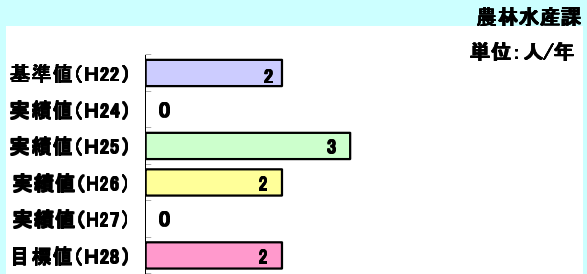
【067】養殖漁業による生産量(ノリ)



◎説明

育苗期の高温により秋芽網が生産不良。冷凍網も質の良いものができず、全体の生産が大幅に減少した。
瑞穂地区403千枚、国見地区1,503千枚 計 1,906千枚

【069】漁業担い手確保推進事業による新規漁業就業者数



◎説明

漁業担い手確保推進事業を活用した新規漁業就業者数は0名であった。県外の就業者フェア等にも参加し勧誘を実施したが獲得できなかった。

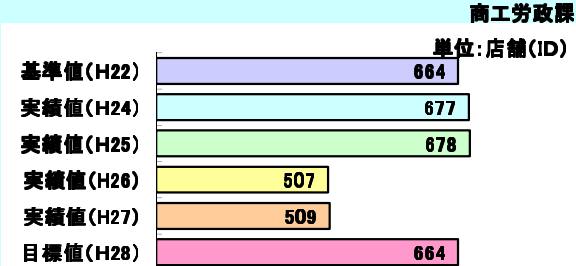
◎説明

一本釣り経営体が橘湾側で増加。有明海側では減少。 橘湾東部漁協 203、瑞穂漁協 54、国見漁協 41、有明漁協多比良分 17 計 315経営体

政策3 魅力ある商工業の振興

商店街が自発的に取り組む活性化に向けた活動支援や、地域資源を活かした新商品・新サービスの開発等を推進します。また、金融支援策等により経営基盤の安定化を図ります。

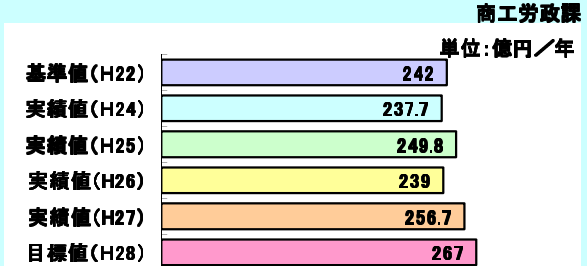
【071】商工会ホームページで情報提供する商店等の数



◎説明

雲仙市商工会が運営するホームページ「雲仙まるごとネット」に登録している商工会委員、団体等の数
(平成28年3月31日 商工会事務局調べ)

【072】市内製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)



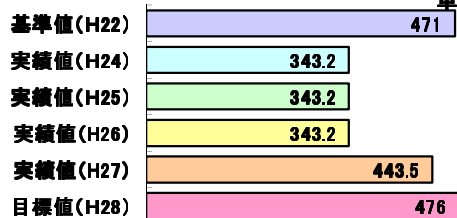
◎説明

製造業 256.7億円
※H26経済センサス(平成26年7月1日)

【073】市内年間商品販売額

商工労政課

単位: 億円/年



◎説明

卸売業・小売業 443.5億円

※H26経済センサス(平成26年7月1日)

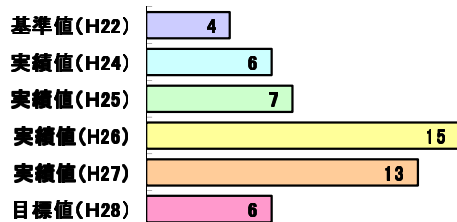
政策4 雲仙ブランドの確立

雲仙ブランドの確立と更なる浸透を図るため、安定した生産基盤の確立や、高付加価値型農業への取り組みを推進します。また、アンテナショップ等を活用し、大都市圏の消費者へのPRや販路拡大への取り組みを推進します。

【074】首都圏スーパー等での「雲仙市特産品販売コーナー」の設置店舗数

観光物産課

単位: 店舗



◎説明

夢彩都、ジョイフルサン(江川本店・大浦店・木鉢店)、旬八青果店(関東9店舗)

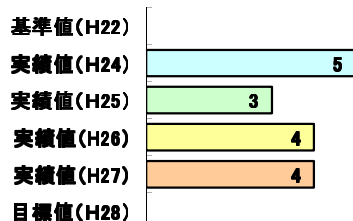
※目標達成!

【076】アンテナショップ「キトラス」における商談回数

【参考】雲仙市商談会実績数

観光物産課

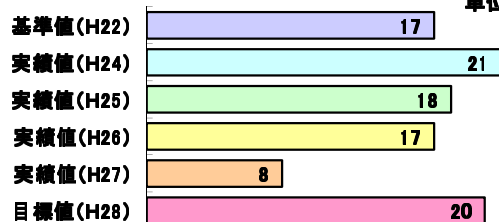
単位: 回/年



【075】市外での雲仙市物産フェアの開催数

観光物産課

単位: 回/年



◎説明

夢彩都(3回)、関東島原半島会(1回)、長崎鹿児島合同物産展(1回)、東京都庁(1回)、京北スーパー

◎説明

アンテナショップキトラスについては、平成27年1月に閉店したため、雲仙市商談会の実績を参考値として整理した。
※雲仙市主催のもの、長崎市・佐世保市合同で行ったもの、県主催に参加したもの。

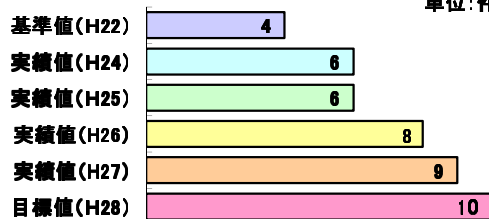
政策5 地場産業振興と企業誘致による雇用の創出

資金貸付制度等を活用し、地場産業の育成や規模拡大に努め、関係機関との連携や、本市独自の優遇制度を活用した企業誘致を推進します。また、地元での就職を促進するため、就職情報の提供や就職相談を強化します。

【077】雲仙市における企業誘致及び増設件数(合併からの累計件数)

商工労政課

単位: 件(延べ)



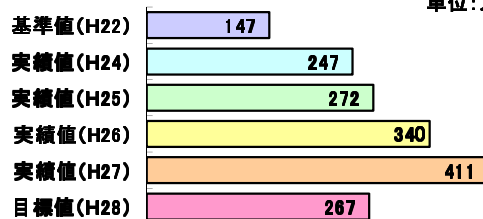
◎説明

H19年度1件、H20年度1件、H21年度1件、H22年度2件、H24年度0件、H25年度0件、H26年度2件、H27年度1件

【078】企業誘致等に伴う新規雇用創出数(合併からの累計件数)

商工労政課

単位: 人(延べ)



◎説明

H19年度誘致事業において35人、H20年度16人、H21年度57人、H22年度39人、H23年度69人、H24年度31人、H25年度25人、H26年度68人がそれぞれ雇用された。

(根拠補足)

H27年度 71人
三貴工業㈱ 9人
㈱ババ商店 3人
㈱ユーコーエステート 6人
㈱ミカド観光センター 13人
㈱雲仙湯けむりファーム 8人
浜観ホテル 4人
平湯リゾート 6人
和泉屋 22人

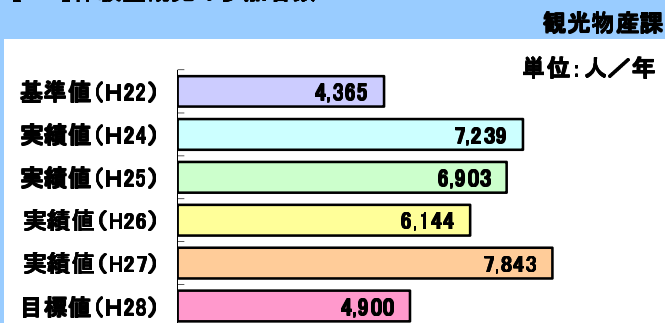
※目標達成!

基本方針⑤ 新しい観光・交流による活力づくり

政策1 地域資源を活かした観光の振興

本市の豊富な地域資源を活かした体験プログラムを充実させるとともに、ガイドやインストラクターの育成によるおもてなし力の向上を図るなど、魅力的な観光地づくりを推進します。また、効果的な情報発信を行うとともに、修学旅行客や外国人観光客の誘客に取り組みます。

【079】体験型観光の参加者数

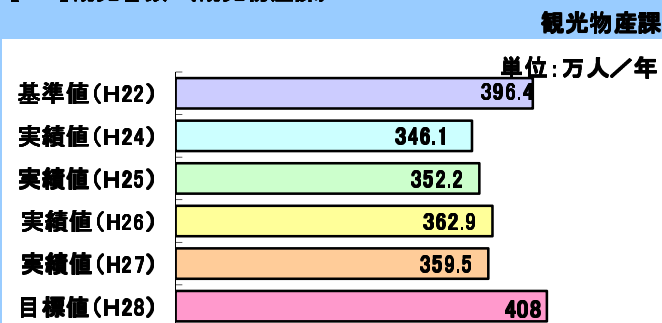


◎説明

※目標達成!

修学旅行における体験受入れ数が増加した。
修学旅行以外の一般の体験受入れも微増となった。

【080】観光客数（観光物産課）

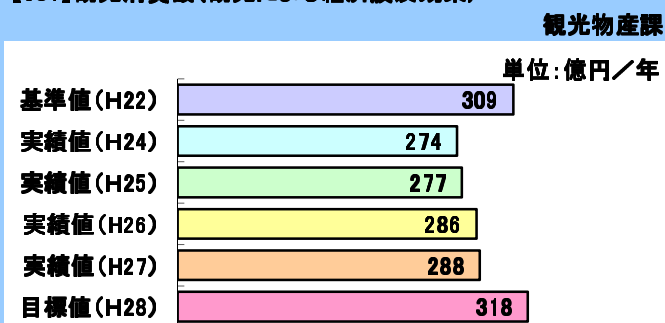


◎説明

宿泊客延滞在数については、「ふるさと割」を活用した個人客、団体ツアー客の増加や、外国人観光客の増加により前年を上回った。

日帰り客数については、荒天日の増加や貸切バス運賃の値上がりの影響により仁田峠を巡る団体客ツアーが減少した。
また、「長崎がんばらんば国体」効果の反動による減少も大きかった。

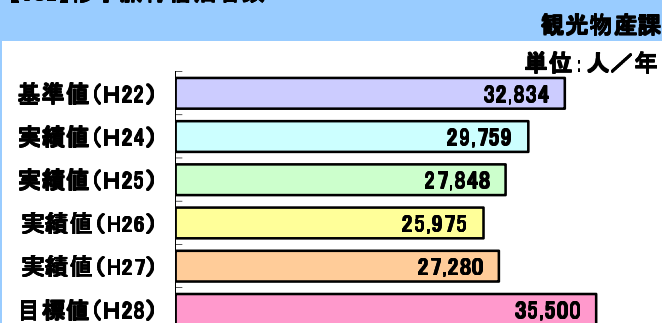
【081】観光消費額（観光による経済波及効果）



◎説明

日帰り客による観光消費額は減少したものの、宿泊客による観光消費額が増加したため、微増となった。

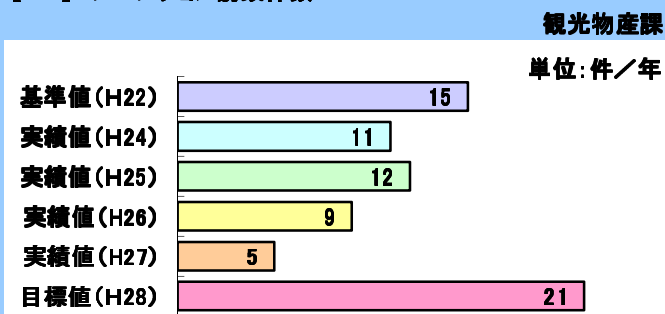
【082】修学旅行宿泊者数



◎説明

長崎県と島原半島が一体となって、県外の学校や旅行会社へ情報発信を重ねてきた結果、知名度が向上してきたことにより、学校数、児童・生徒数共に増加した。
H26年238校⇒H27年244校

【083】コンベンション誘致件数



◎説明

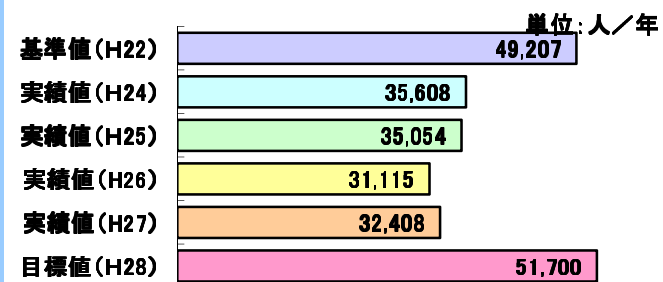
新規コンベンションの開催もあったが、参加者減により対象外となった大会や、開催会場の変更があった大会があり、減少した。

政策2 地域間交流の推進

プロスポーツチーム等の合宿やスポーツ大会関連事業の誘致に取り組むとともに、スポーツ大会や産業まつり等の交流イベントによる交流促進に取り組みます。また、国内・国際交流を推進し、交流活動の活性化に取り組みます。

【084】市内公共施設を活用したスポーツ交流や合宿人数

スポーツ振興課



◎説明

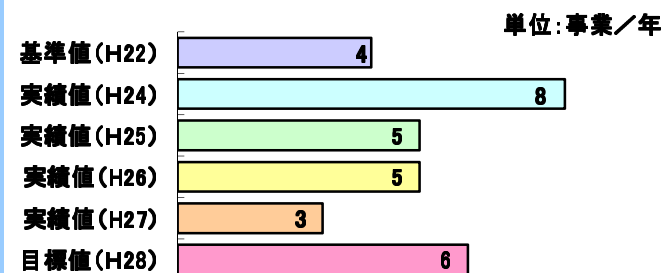
雲仙市内公共施設を活用した大会等を開催し、参加者数については前年度より増加したものの、目標には達しなかった。

【遊学の館】合宿等 3,886人、イベント12,730人

【すこやかランド】合宿等 2,253人、イベント13,539人

【085】姉妹都市等による国内・国外交流事業数

生涯学習課・観光物産課



◎説明

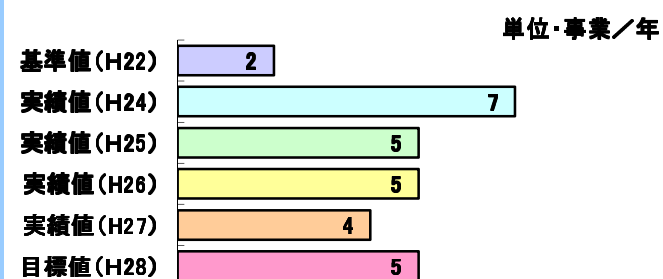
天正遣欧少年使節国内交流事業

市民団体派遣事業（2団体）

求礼郡守来市

【086】国際交流関係事業数

観光物産課



◎説明

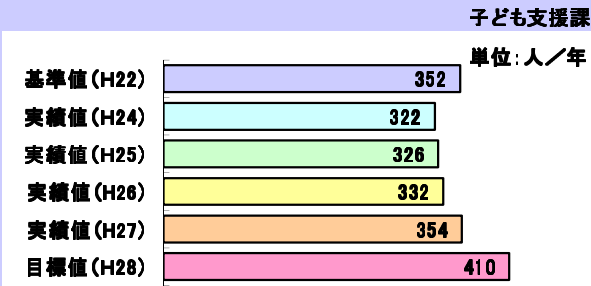
国際交流員を活用した広報紙掲載事業、国際理解講座開催事業（幼稚園、保育園等訪問）、異文化理解講座開催事業（韓国）、市民連携国際交流事業

基本方針⑥ 明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

政策1 健やかな子育て対策

子育てを支援する拠点づくりに取り組むとともに、市民が仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境づくりに努めます。また、子どもを安心して生み育てられるよう支援するとともに、市民参加による子育て支援に努め、子どもたちが健やかに育つための環境づくりに取り組みます。

【087】学童保育利用登録者数



◎説明

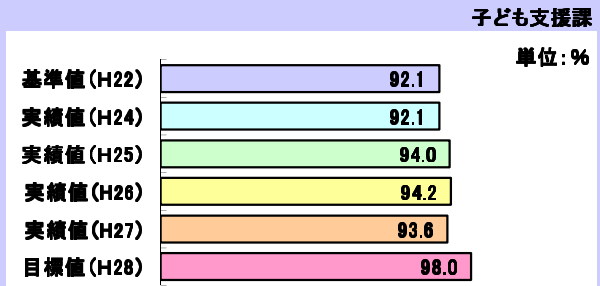
平成27年度の登録児童数は、354人であり、基準年度(H22)比：+0.7%、目標年度値比：△14.0%であった。少子化・核家族化の進展や夫婦共働き世帯の増加など需要は高く、登録児童数は増えていくものと考えられる。

クラブ別登録児童数

サンサンクラブ(国)43人 おおぞらクラブ(国)19人
 けやきっ子クラブ(国)31人
 ピーターパンクラブ(瑞)23人
 ハッピークラブ(吾)21人 なかよしクラブ(吾)21人
 コスモスクラブ(愛)109人 マウントクラブ(千)27人
 小浜クラブ(小)47人 ひまわりクラブ(小)13人

【088】3～4か月児赤ちゃん健康相談受診率

【088】3～4か月児赤ちゃん健康相談受診率

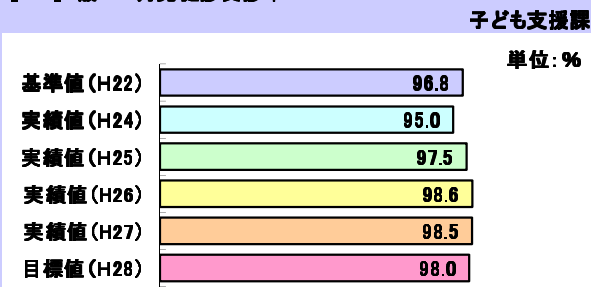


◎説明

H27年度は、対象者297人に対して受診者が278人で93.6%であった。個別通知や母子保健推進員による声かけにより、90%以上の受診率を保っている。

未受診者には、訪問および電話等で状況を確認し、対応している。未受診の理由としては里帰り、体調不良（入院中）、保護者の都合等であった。

【089】1歳6か月児健診受診率



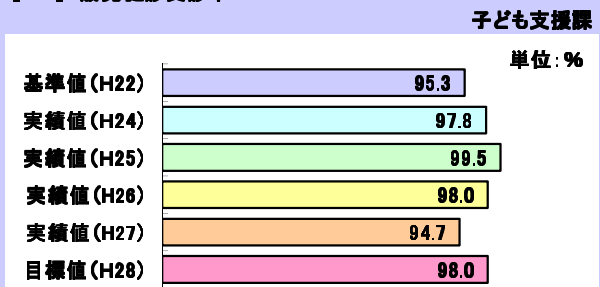
◎説明

※目標達成！

H27年度の受診率は、対象者329人に対して受診者が324人で98.5%と、前年度から0.1%減少。

未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で連絡をとって状況を聞いたり、受診勧奨を行っている。本年度は目標値に到達しているが、引き続き、受診率向上を目指していきたい。

【090】3歳児健診受診率

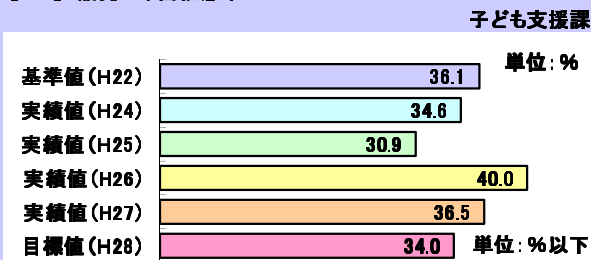


◎説明

H27年度の受診率は、対象者412人に対して受診者が390人で94.7%と、前年度から3.3%減少。

未受診者への対応として、保育園、自宅訪問および電話等で連絡をとって状況を聞いたり、受診勧奨を行っている。引き続き、受診率向上を目指していきたい。

【091】3歳児のう歯罹患率

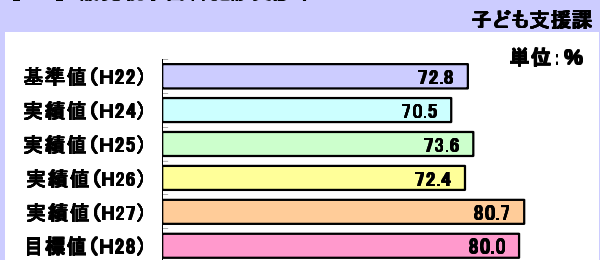


◎説明

H27年度は歯科健診受診者389人のうち、う歯がない人は247人、う歯がある人が142人で、う歯罹患率は36.5%と、前年度より3.5%減少している。

その年によって罹患率にバラつきがある状況であり、県平均値より以前高い水準にあるので、目標値以下を達成できるよう、今後も歯科保健事業の推進により、う歯罹患率の減少を目指していきたい。

【092】2歳児親子歯科健診受診率



◎説明

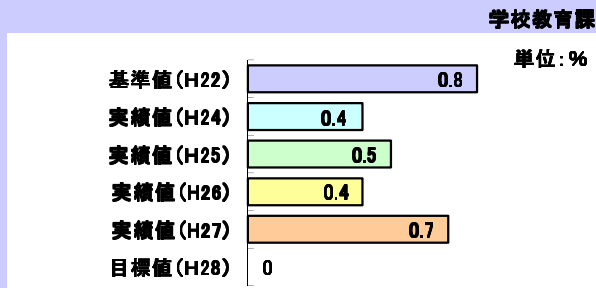
※目標達成！

H27年度は、対象者352人に対して受診者が284人で受診率は80.7%であった。

政策2 教育環境の充実

家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりに取り組みます。また、校舎等の計画的な改修・耐震化を進めるとともに、給食センターの適切な管理など、安全・安心の教育環境づくりを進めます。

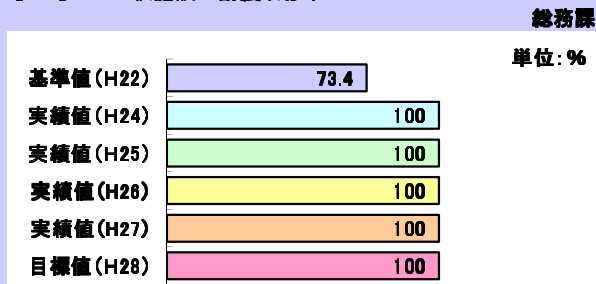
【093】不登校児童生徒率



◎説明

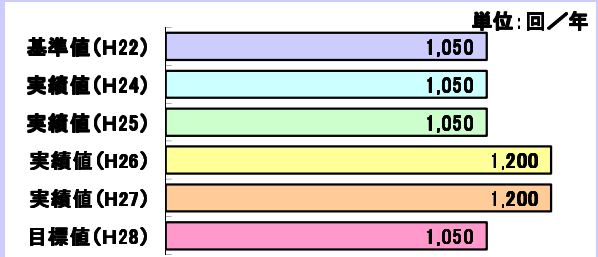
連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする者を計上。不登校児童生徒数25名。在籍児童生徒総数3,507名。

【095】小中学校施設の耐震改修率



※目標達成!

【094】小学校(5・6年生)および中学校における外国語指導助手(ALT)派遣回数



◎説明

※目標達成!

小学校及び中学校へのALTの派遣回数。

【H26年度実績 200日×6名=1,200回】

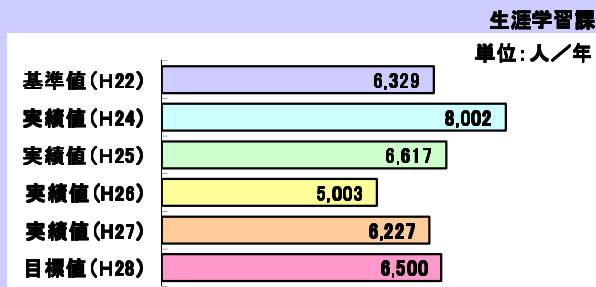
◎説明

H24年度において達成

政策3 生涯学習の推進

地域や学校と連携した地域ぐるみの育成活動や、読書活動の推進により、青少年の豊かな心を育むなど健全育成に努めます。また、市民の多様な生涯学習ニーズに応える体制づくりや教育環境の整備を進め、生涯学習社会の構築と、豊かな芸術・文化あふれる地域づくりを推進します。

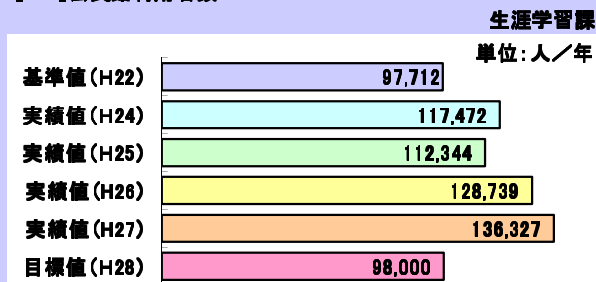
【096】地域での体験活動等の参加者数



◎説明

子ども向けの体験型の講座を68回開催し、参加者は1,338人
放課後子ども教室を31回開催し、延べ参加者は321人
土曜学習を424回開催し、延べ参加者は4,568人

【098】公民館利用者数

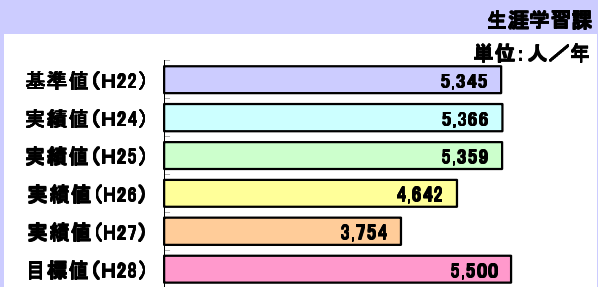


◎説明

※目標達成!

H27年度実績 (公民館利用者数)
瑞穂町 公民館 36,748人
愛野町 公民館 53,718人
千々石町 公民館 13,408人
南本町 公民館 (小浜) 32,453人

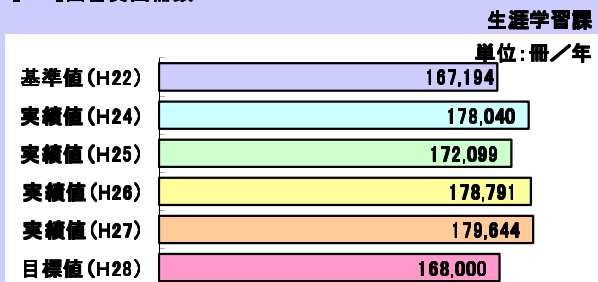
【097】生涯学習講座等受講者数



◎説明

生涯学習講座・公民館講座 166講座3,754人の参加者数となった。

【099】図書貸出冊数

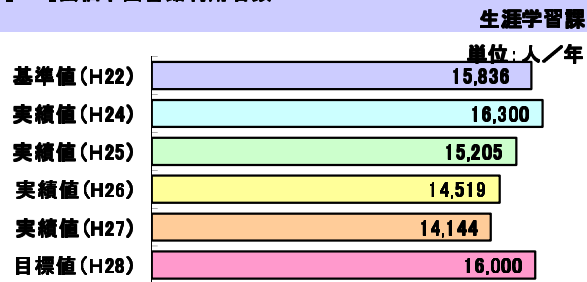


◎説明

※目標達成!

H27年度実績 (図書館要覧抜粋)
雲仙市図書館 79,049冊
瑞穂図書室 9,495冊
吾妻図書室 12,568冊
愛野図書室 12,482冊
千々石図書室 12,738冊
小浜図書室 17,448冊
南串山図書室 6,463冊
移動図書館 29,401冊

【100】雲仙市図書館利用者数



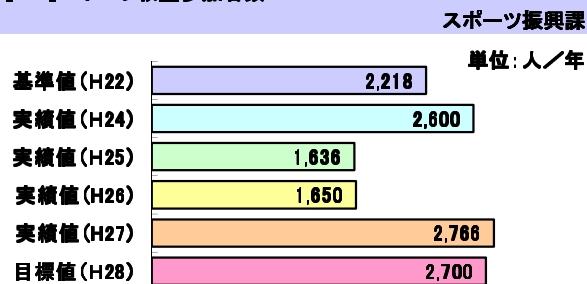
◎説明

H27年度実績 図書館利用者数 14,144人

政策4 生涯スポーツの振興

市民の年齢や適性に応じたスポーツを奨励し、健康なからだづくりや、市民交流を推進します。また、施設の機能強化や利用機会の均等化を図るため、施設の改修・再編や管理体制の見直しに努めます。

【101】スポーツ教室参加者数



◎説明

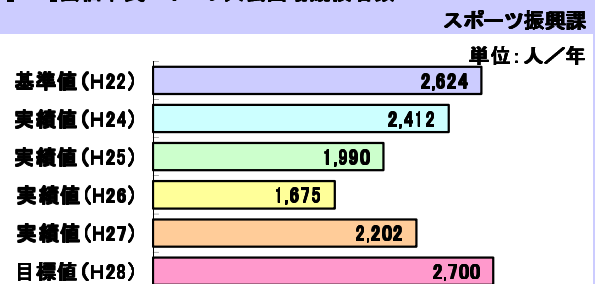
※目標達成!

健康・体力づくり推進のための教室として、雲仙市オリジナルスポーツ・雲仙アツマクロス教室のほか、体力年齢がわかる体力年齢測定会や水泳教室、ウォーキング大会を実施した。

また、成長期のスポーツ障害予防等の知識習得と実践のための講習会などを開催し、全参加者数については、目標数値を達成した。

- ・雲仙アツマクロス教室 (1,376人)
- ・体力年齢測定会 (41人)
- ・スポーツ医科学講習会 (696人)
- ・水泳教室 (576人)
- ・ウォーキング大会 (77人)

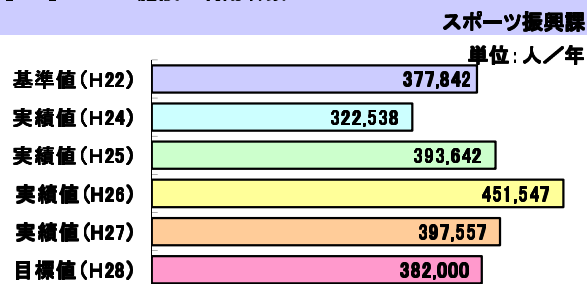
【102】雲仙市民スポーツ大会出場競技者数



◎説明

雲仙市体育協会の協力のもと、競技人口の拡大、育成に取り組み、参加者数については前年度より増加したものの、目標には達しなかった。

【103】スポーツ施設の利用者数



※目標達成!

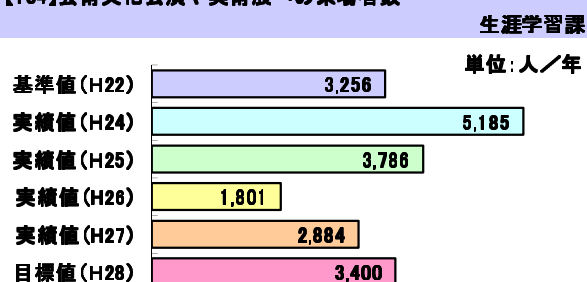
◎説明

前年度に比べ大幅に減少しているのは、長崎がんばらんぼ国体関連の利用者数の減が主な要因となっている。前年度に比べ、小浜体育館や愛野運動公園などで減少しているものの目標数値を達成した。

政策5 芸術・文化活動の推進

芸術文化鑑賞等の機会を提供しつつ、市民の芸術・文化活動の推進と発表の場の提供を行うことで、市民の豊かな人格形成と新たな地域文化の創造を目指します。また、文化施設の適正な管理や、利用促進のための情報発信を強化します。

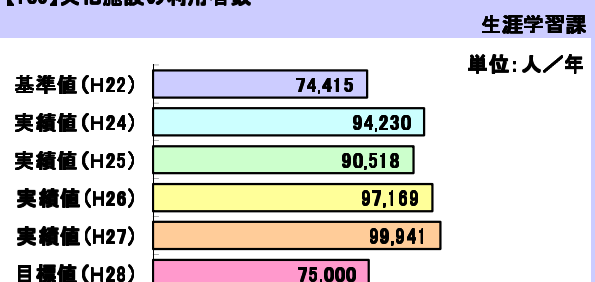
【104】芸術文化公演や美術展への来場者数



◎説明

文化イベントへの参加者数
市内3ホール等を幅広く使用し、ターゲットを絞った企画を計画。市民へのアンケート等も行い、より市民の希望にそった公演の実施に取り組み、日野皓正ジャズライブや米村でんじろうサイエンスショー、華麗なる宝塚OGコンサート等を実施した。

【105】文化施設の利用者数



◎説明

※目標達成!

H27年度実績簿より各施設の年間利用者数

- 国見町文化会館 13,327人
- 吾妻町ふるさと会館 63,157人
- ハマユリックスホール 23,457人

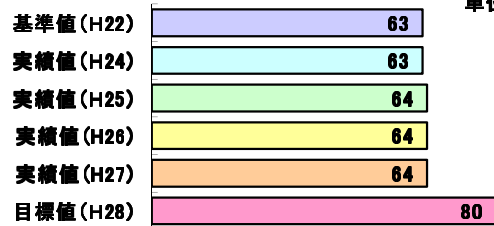
政策6 歴史・文化を活かしたまちづくり

各種開発事業に伴い、市内遺跡・埋蔵文化財等の調査・保存を進めます。また、伝統的建造物の保全整備や、伝統芸能の保存、生活習慣、食文化等の継承を推進するとともに、文化財保存に対する意識啓発や活動の支援を行います。

【106】文化財の指定数

生涯学習課

単位: 件/年



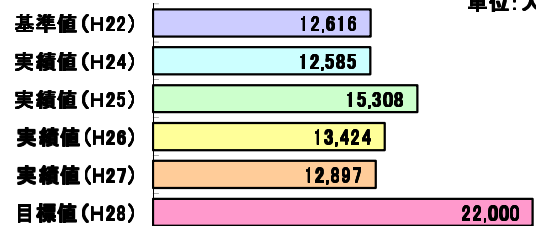
◎説明

文化財の新指定について文化財保護審議会へ3件の諮問を行なった。(告示は次年度)

【107】鍋島邸入場者数

生涯学習課

単位: 人/年



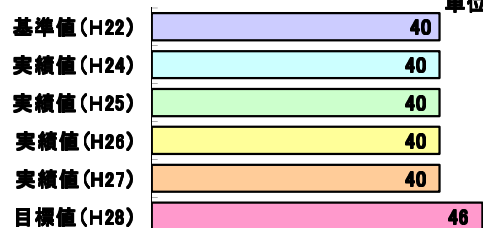
◎説明

緋寒桜の開花時期に雨が続き集客が減少した。地域団体と連携し野外イベントの開催、緋寒桜の郷まつりイベントを実施した。収蔵物の特別展などの企画展を実施した。

【108】郷土芸能保存団体数

生涯学習課

単位: 団体/年



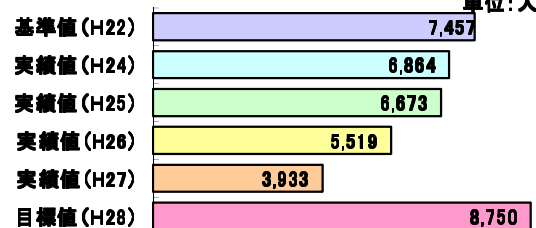
◎説明

豊作祈願など、第1次産業を基盤とした郷土芸能が多く、職種や生活スタイルが多様化した現代において伝承が困難になりつつある。国の助成制度などの活用を図り支援していく。

【109】歴史資料館入場者数

生涯学習課

単位: 人/年



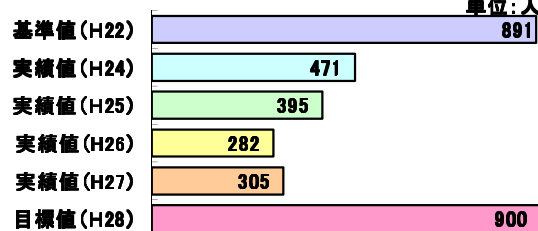
◎説明

南串山展示館 322人
小浜歴史資料館 1,890人
国見展示館 1,721人
隣接建造物の工事に伴いイベントが開催できなかったこともあり国見展示館入場者数が減少した。

【110】郷土料理教室参加者数

生涯学習課・健康づくり課

単位: 人/年



◎説明

公民館講座や食生活改善推進員による男のための料理教室や、地元の食材を利用した郷土料理教室など33講座を開催した。(生涯学習課10講座122人・健康づくり課23講座183人)